

中学校特別支援学級通学区域変更の概要版（案）

1. はじめに

西東京市ではこれまで、総合計画や教育計画、特別支援教育推進プランに基づき、**中学校特別支援学級を3箇所**設置し、知的障害学級（知的タイプ）と自閉症・情緒障害学級（自閉タイプ）における教育課程の充実に取り組んできました。

近年の**在籍者数の増加**や**市内の配置バランス等**の課題が生じていることから、移転後のひばりが丘中学校に4箇所目となる特別支援学級を**令和4年度に開設**する予定です。現在、中学校特別支援学級通学区域検討懇談会の中で、開設に向けた通学区域の見直しを進めています。

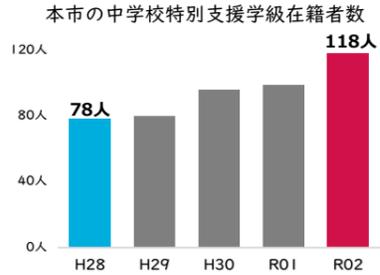
2. 関連計画

以下の西東京市の計画に基づき、中学校特別支援学級の取組を進めます。

- 西東京市第2次総合計画・後期基本計画
- 西東京市教育計画
- 西東京市特別支援教育推進プラン

3. 中学校特別支援学級在籍者数の現状

西東京市中学校における特別支援学級在籍者数は



令和2年度まで**増加の傾向**にあり、

東京都の特別支援教育推進計画

においても**引き続き増加**

する傾向が示されています。

4. 想定される課題

◎在籍者数の増加に伴い、各学校の教室数が**学級数に対応できなくなる可能性**があります。

■現在の通学区域

【保谷中学校】
令和6年度以降の学級数に対応できなくなる可能性がります。

【教室上限】6教室
【学級数】R2：5学級
R6：6学級

【田無第一中学校】
令和4年度以降の学級数に対応できなくなる可能性がります。

【教室上限】7教室
【学級数】R2：7学級
R6：8学級

◎アンケート調査では、
移転後のひばりが丘中学校
周辺地域と東町付近は中学校

【教室上限】5教室
【学級数】R2：5学級
R4：7学級

まで**40分～50分**要し、
配置バランスに課題が出ています。

5. 通学区域の見直しに係る視点

5つの視点

から通学区域の見直しを行いました

視点1 学級数の推計と学校施設の状況

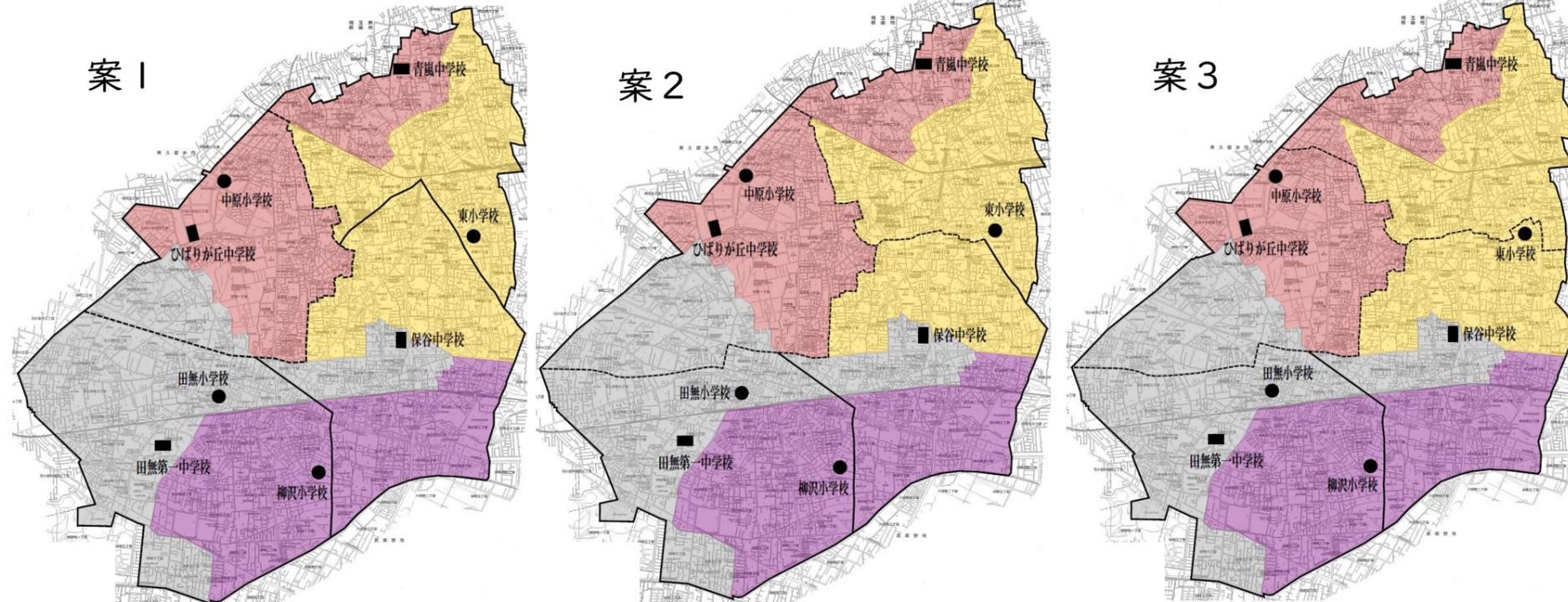
視点2 通学距離・時間について

視点3 小学校から中学校への進学先

視点4 通学区域の分かりやすさ

視点5 在籍生徒への配慮について

6. 通学区域の変更案



教室数の上限	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
田無第一中学校	5教室	5学級	5学級	5学級	6学級	7学級
保谷中学校	7教室	7学級	7学級	7学級	6学級	6学級
青嵐中学校	6教室	5学級	5学級	5学級	4学級	3学級
ひばりが丘中学校	6教室	-	-	3学級	4学級	6学級

【概要】既存の通学区域から大幅な変更は行わず、通学距離を重視したパターン

【課題】田無第一中学校で**教室数の不足**が見込まれます。東町の南部の地域は通学に40分以上要します。

教室数の上限	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
田無第一中学校	5教室	5学級	5学級	5学級	5学級	5学級
保谷中学校	7教室	7学級	7学級	7学級	6学級	6学級
青嵐中学校	6教室	5学級	5学級	5学級	4学級	3学級
ひばりが丘中学校	6教室	-	-	3学級	4学級	6学級

【概要】案1に対し、田無第一中学校区域を縮小し、青嵐中学校区域を拡大したパターン

【課題】ひばりが丘中学校で**教室数の不足**が見込まれます。東町の南部の地域は通学に40分以上要します。

教室数の上限	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
田無第一中学校	5教室	5学級	5学級	5学級	5学級	5学級
保谷中学校	7教室	7学級	7学級	7学級	6学級	6学級
青嵐中学校	6教室	5学級	5学級	5学級	4学級	3学級
ひばりが丘中学校	6教室	-	-	3学級	4学級	6学級

【概要】案2に対し、学級数に応じた**教室数が確保**できるように、ひばりが丘中学校区域を縮小する。東町の南部の地域を保谷中に変更し、通学時間を短縮化。

【課題】現在の通学区域からの変更が多い

(視点1) 学級数に応じた**教室数が確保**できる
(視点2) 通学に要する時間が**大幅に短縮**される
(視点3) 進学先中学校の**分散化は最小限**

このことから



案3 の通学区域が望ましい

7. 変更に係る留意点

(視点4) 生徒・保護者に混乱が生じないよう、保護者通知等で周知に努めるほか、就学相談等を通じて丁寧に説明していく必要があります。

(視点5) 中学校在籍者で指定校が変更になる場合は、進級先として**在籍校**と変更後の指定校**いずれも選択**できるように配慮する必要があります。

8. 今後の検討課題

教育委員会では、児童生徒数のバランス等に課題が生じていることから、通常学級の学校選択制度の在り方について検証を進める予定です。本懇談会に係るアンケート調査では、特別支援学級における学校選択制度導入の要望が数多くあることから、今後の検証に合わせ、特別支援学級における**学校選択制度**について方向性を整理する必要があります。